

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和6年度 第1回 佐渡市地域包括ケア会議
開催日時	令和6年9月5日(木) 14時00分開会 15時10分閉会
場 所	金井コミュニティセンター 1階 ホール(大集会室)
議 題	高齢者の食支援について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>参加者 (公務員除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体 10名 (公務員) ・新潟県警察 佐渡警察署 生活安全課 課長 大島裕司 ・新潟県佐渡地域振興局 健康福祉環境部地域保健課課長代理 中川圭子 ・佐渡市消防本部 予防課 課長補佐 中川浩二 ・佐渡市市民生活部 健康医療対策課 課長補佐 田村京子 ・佐渡市市民生活部 市民課 保険年金係 係長 中村伸一 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市社会福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係 係長 柴原祥二 ・佐渡市社会福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係 主任保健師 鶴間利恵 ・佐渡市社会福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係 中川麻菜美 ・佐渡市社会福祉部 社会福祉課 総合福祉相談支援センター センター長 海老由紀 ・佐渡市社会福祉協議会 福祉課 地域福祉係 第1層生活支援コーディネーター 1名 ・各地域包括支援センター 4名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 No. 1 「令和6年度 第1回 佐渡市地域包括ケア会議について」 ・資料 No. 2 「令和5年度 東圏域包括ケア会議 食に関するアンケート結果」 ・資料 No. 3-1 「食支援に関する取り組みについて」 ・資料 No. 3-2 「高齢者の食支援について(佐渡市生活支援体制整備事業の活動から)」
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
高齡福祉係 職員	1. 開会
高齡福祉課 課長代理 高齡福祉係 係長	2. 挨拶 本会議は、高齡者等の地域の方々や専門職の声を地域包括ケアの推進に活かし、地域の実態に合致した地域包括ケアシステムを構築するための重要な手法とされている会議である。 高齡期の健康を維持し、フレイルを予防していくために「食」は重要なテーマとなる。包括担当圏域ケア会議における議論内容や、佐渡市の食支援に関する取組、現状、課題などを共有し、それぞれの立場より課題解決に向けた支援策など多くのご意見をいただくことで今後の取組みに活かしていきたいと考えている。
座長 A 氏 高齡福祉係 職員	3. 議題『高齡者の食支援について』 (1) 会議概要説明「第 1 回 佐渡市地域包括ケア会議について」 資料 No. 1 により説明。質疑なし。
東包括支援センター所長	(2) 東圏域の食支援に関する取組みについて 資料 No. 2 により説明。質疑なし。
高齡福祉係 主任保健師	(3) 佐渡市の食支援に関する取組みについて ①資料 No. 3-1 により説明。
座長 A 氏	・訪問型サービス C の利用者、利用率はどのようになっているか。
高齡福祉係 主任保健師	・訪問型サービス C については、利用者数は非常に少なく、年に 1～2 名である。
座長 A 氏	・通所型サービスはどうか。
高齡福祉係 主任保健師	・通所型サービスは島内 4 事業所が実施。定員が埋まるほどではない。
第 1 層生活支援コーディネーター	②生活支援体制整備事業の活動から 資料 No. 3-2 により説明。質疑なし。
座長 A 氏	(4) 意見交換

委員 B 氏	<p>歯科としてはオーラルフレイル対応が保険点数にも収載され、全国的な歯科医師会の取り組みになっている。しかし、佐渡の歯科医師会で摂食嚥下までできる医師は少ないので、これにどう対応していくかが今後の課題。</p> <p>薬剤師会としては食支援について特に何かしていこうということはない。保険薬局での患者対応では、一般的な服薬指導で食事や嚥下、飲み込む力の確認をしている。各保険薬局でも指導内容として確認していると思う。フレイルに関しては、担当薬剤師もいて会議等々にも参加しているので、薬剤師会で情報共有している。</p>
委員 C 氏	<p>リハビリテーション専門職協議会として市の事業に協力しており、地域ケア個別会議にスタッフを派遣し、要支援の方への助言を行っている。他に、市の介護予防教室と地域リハビリテーション検討会にも参加している。介護予防教室は市の委託事業として実施。</p> <p>来てくれる方は関心を持っているので良いが、来られない方や関心のない方をどうやって来てもらうか工夫できると良い。</p>
委員 D 氏	<p>離職者が多く協会として具体的な取り組みを示すのは難しい。今回この話を聞かせてもらい、情報共有することが第一歩かと思う。その上で、各協会員がどういったところで地域とつながれるか、支援が必要な時にどうつなげて行くかを考えることが必要と思う。</p>
委員 E 氏	<p>福祉老人ホームであり、在宅系統のサービスとは少し違うところがあるが、学校等と同様、食材の高騰で悪戦苦闘しながら各施設で自助努力している。しかし、利用者にとっては、食は楽しみの一つなので、月 1 回でもお楽しみ御膳やおやつバイキング等、工夫しながらやっている。今日は情報共有のために参加したので、今後、一緒に展開して行ければ良いと思う。</p>
委員 F 氏	<p>弁護士業務の一つに成年後見があり、自分も何人かの成年後見人をしている。その中に在宅の被後見人もおり、先程紹介された配食サービスを利用している方もいてとても助かっている。こういう事業は高齢者にとって大切なので、関係者には引き続き事業の展開をお願いしたい。</p>
委員 G 氏	<p>社会福祉士会としては食支援事業に具体的な活動は行っていないが、佐渡には買い物困難者が多くいると聞いている。先程</p>

<p>委員 H 氏</p>	<p>紹介のあったうえたん号は、自分の住んでいる佐和田地区では見かけたことがない。今日、うえたん号を初めて知った。この周知はどのようにしているか。情報がわからないので、その周知の仕方についても考えることが必要と思う。</p> <p>地域食堂がどこにあるかも知ることができ、こういう活動を必要な方に知らせることができれば孤立する方も少なくなると思う。</p> <p>栄養士会では年 2 回の研修会と食育普及啓発事業を実施している。昨年は、佐渡市健康フェスティバル「じょうぶら」に参加し、栄養士が作成した減塩弁当を 70 食販売。生活習慣病予防の弁当のレシピ配布や生活習慣病の食事に関する掲示、来場者の栄養相談を行った。今年も 10 月 20 日の佐渡市健康フェスティバルに参加し、減塩・高タンパクの弁当販売を予定している。</p> <p>令和 5 年 10 月に、栄養士会から在宅医療栄養推進事業の協力依頼があり、各支部に地域ケア担当を置くことになった。この事業は切れ目ない栄養ケアの提供を目的とし、医療介護在宅間の栄養情報の一括共有、栄養ケアの展開可能な連携ツールの充実、体制整備のため、月 1 回程度の話し合いを持っている。具体的な活動としては、現在の能登式食形態マップを他職種が見やすいように町田式に移行する予定。</p> <p>また、在宅医療移行後、自宅でヘルパーや家族がスムーズに食事提供できるようなリーフレットを作成する予定。</p>
<p>委員 I 氏</p>	<p>佐渡市社会福祉協議会では、佐渡市と協力して配食サービスを実施している。また、高齢者や障がい者の食支援で必要なところにつなぐ活動も行っている。</p> <p>最近取り組んだところでは、鷲崎の住民からの買い物が困難であるとの声から、デイサービスセンターかんぞうで総合生協の注文票記入を支援し、かんぞうに配達してもらい、買い物と共に交流もしてもらおうという活動がある。</p> <p>また、かんぞう休業日の木曜日にサロンを立ち上げ、うえたん号に立ち寄ってもらい買い物支援を行っている。</p> <p>その他に、デイサービスでは、地域の飲食店にも来てもらい、利用者に食事を楽しんでもらえるよう機会を作っている。</p>
<p>委員 J 氏</p>	<p>資料 3-1 と 2 に昨年の実績が入っていると良いと思う。できれば今後実績を入れてもらいたい。</p> <p>自分のところでは併設しているデイサービスで配食サービスの弁当を作っている。いつも思うが、ゴールデンウィークの約 1 週間から 10 日は配食サービスがなく、その間は対象者の安否確</p>

<p>佐渡警察署 生活安全課 課長</p>	<p>認ができない。これを何とかしてほしい。数年前までは祝日にも配食サービスがあったがなくなってしまった。できれば祝日のサービスを再開してほしい。</p> <p>今回の会議への出席で、佐渡市の食支援に関する取り組みについて知ることができた。警察として食支援に関する取り組みはないが、警察業務を通じての行方不明高齢者や高齢者虐待への取り扱いで、高齢福祉課や包括支援センターにはお世話になっている。今後とも協力いただきたい。</p>
<p>新潟県佐渡地域振興局 地域保健課課長代理</p>	<p>保健所では、平成 30 年から佐渡市と共に高齢者食支援事業として元気 100 歳いいねかっちゃ弁当や様々な弁当の啓発活動を実施している。昨年度で事業は終了となったが、残された課題として栄養相談の体制整備に取り組んでいる。また、先程栄養士会からも紹介あった通り、食形態一覧表を作成したが、病院や施設から在宅に戻った際に、高齢者の方の状態に合った形態の食事が作ることができるよう、栄養士会と連携してリーフレット作成を行っている。</p>
<p>佐渡市消防本部予防課 課長補佐</p>	<p>消防本部予防課として食支援に関係する直接の活動はないが、高齢者世帯への防火、火災の予防を通じて生活支援を行っていききたい。</p>
<p>健康医療対策課 課長補佐</p>	<p>健康医療対策課には保健師や栄養士が所属しており、両津・相川・羽茂支所にも保健師と栄養士が配属されている。我々の業務は健康診断・健康相談・家庭訪問・健康教育であり、地域の健康課題解消に向けて住民と共に活動している。</p> <p>健康診断は毎年 5 月から 7 月に実施しており、高血圧や糖尿病の疑いのある方や、貧血で痩せている方の重症化予防として家庭訪問を行っている。痩せの方の家庭訪問では、体質的な問題以外にも家族を亡くして食事ができないということもある。経済的な問題があることもあり、一概に高タンパクの食事を摂りましょう、では難しいことが分かるが、できる事を一緒に考えて継続的に関わっていききたいと思う。</p> <p>健康医療対策課には健康推進員の事務局もあり、健康学習会を共に開催している。健康推進員が地域をくまなく回り、高齢者に声かけしてくれている。健康学習会には高齢者だけでなく若い方も来ており、皆で一緒に食事を摂ることの楽しさを感じてもらっている。健康学習会では別メニューだが、今度はカレーが食べたいと話があり、次回の予定が計画される場合もある。</p> <p>また、来ていない方を案じるというのが大切だと思うので、</p>

<p>市民課 保健年金係 係長</p>	<p>包括等いろいろな方と協力して相互に見守れるような関りを作 っていききたい。</p> <p>今回、自分は初の出席となる。市民課は、国民健康保険と後 期高齢者医療の情報を持ち、健康診断を受けた方の情報もある ので、この2つを掛け合わせ最終的には個別訪問を健康医療対 策課や包括支援センター等をお願いしている。</p> <p>もう1つが、栄養改善ということで、管理栄養士と栄養相談 ができるよう健診会場にブースを設け、痩せの傾向がある方を 対象に栄養相談を実施してもらっている。</p> <p>市民課は持っているデータを分析し、関係部署に提供する業 務を担っている。</p>
<p>座長 A 氏</p>	<p>国連の食糧農業機関が世界飢餓マップを出しており、日本に は飢餓（＝栄養不足）の方が約 3.5%いて、これはG 7の中で最 低の値となっている。その原因として、高齢化が進んで、低栄 養の高齢者が増えているのではないかと、若い世代の拒食症では ないかと言われている。3.5%と言え、100人のうち3～4人 が低栄養だということ。</p> <p>しかし、例えば、在宅介護の方が施設に入るとADLが改善 され、介護度が低くなることはよく聞く話であり、食環境の充 実が寄与していると思う。食べることで状態が良くなり、介護 度が下がるということは、高齢者の栄養状態を良くすることで 介護負担を減らせるのではないかと、高齢者の食についてしっ かり考える必要があるのではないかと常々思っている。</p> <p>出席者は今日の意見交換を持ち帰り共有していただき、市で は施策に活かしてもらいたい。</p>
<p>高齢福祉係 職員</p>	<p>意見交換での補足をお願いしたい。</p> <p>うえたん号は買い物に困っている地域を運行しており、また、 とくし丸が巡回している地域には運行してないため、佐和田地 区では見かけることがないのだと思う。基本的に商店へのアク セスが悪いところやとくし丸が巡回していないところへ運行し ており、チラシは運行対象地域にのみ配布しているため、佐和 田地区では見ることがないのだと思う。</p> <p>また、うえたん号の実績については、今回の会議資料には間 に合わなかったが、昨年実績を会議報告の際に共有したい。</p>
<p>高齢福祉係 職員</p>	<p>4. その他</p> <p>今年度の地域包括ケア会議はあと2回を予定。第2回の正式 な日程は決定後に案内する。</p>

また、本日の会議録の承認後には、佐渡市ホームページで公開予定。承認にご協力をお願いしたい。

5. 閉会